



防衛省東北防衛局広報紙

東北のかなめ

vol.60 (2023.3)



写真提供:宮城県大河原町
白石川堤一目千本桜

【CONTENTS】

- ✓ 米軍の訓練を支援
- ✓ 日米交流事業 パラスポーツ運動会 in Misawa 2023
- ✓ トピックス
 - ・令和4年度防衛大臣感謝状伝達
 - ・令和4年度東北防衛局長感謝状贈呈
 - ・応急危険度判定訓練の実施
- ✓ インフォメーション
- ✓ ようこそわが街へ(第30回)～宮城県大河原町～
- ✓ 防衛関連企業シリーズ⑬:福島産業株式会社



米軍の訓練を支援

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散実施

王城寺原演習場(宮城県)において、令和4年11月23日から12月17日まで、米軍海兵隊員による実弾射撃訓練が行われました。

東北防衛局は、同演習場内に「現地連絡本部」を設置し、最大約40人体制で、訓練部隊に対する支援や関係自治体などへの情報提供、演習場周辺地域の巡回警備などを24時間体制で行いました。

訓練終了後、海兵隊員は、地域貢献や交流活動の一環として、演習場近隣にある施設を訪問し、ボランティア活動を行い、また、日本文化を学ぶための現地研修で東松島市(宮城県)等を訪れました。



調整会議

現地連絡本部開設



訓練公開で参加者に説明する海兵隊員

ボランティア活動(駐車場の白線引き)



日米共同訓練 (Keen Sword23) 及び日英共同訓練 (ヴィジラント・アイルズ22)

日米共同訓練及び日英共同訓練においても、東北防衛局は、訓練期間中、現地に職員を派遣して、関係自治体などへの情報提供などを行いました。

【日米共同訓練 Keen Sword23】

令和4年11月10日から19日 青森県内の防衛施設で実施

【日英共同訓練 ヴィジラント・アイルズ22】

令和4年11月22日から30日 青森県・福島県内の防衛施設で実施

日米交流事業 パラスポーツ運動会 in Misawa 2023

1月28日、青森県三沢市において、米軍三沢基地及びその周辺に在住する日米の小学生親子を対象とした日米交流事業「パラスポーツ運動会 in Misawa 2023」を開催しました。

同市におけるスポーツ交流イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、令和2年度から休止となっていましたが、感染症対策を実施した上で、約3年ぶりに行われました。

日米の児童と保護者による混合チームを4チーム結成し、パラリンピックの正式種目であるボッチャ、車いすバスケットボール、また、車いすリレーの3競技で勝敗を競いました。

参加者からは、「協力して楽しめたので、また参加したい。」、「言葉が通じなくてもスポーツの力で交流することができた。」との感想が寄せられました。



全員で記念撮影



選手宣誓
(日本側は英語で、米側は日本語で宣誓)



ボッチャ



車いすバスケットボール



車いすリレー



優勝チーム「Samurai」

トピックス

令和4年度防衛大臣感謝状伝達

令和4年12月23日、青森県三沢市役所において、市川道夫局長から米田光一郎三沢市副市長に対し、防衛大臣感謝状を伝達しました。

米田副市長は、副市長就任以前の基地関係担当部長である政策財政部長当時から長年にわたり三沢飛行場及び三沢対地射爆撃場の所在する自治体の要職に就かれ、防衛施設と周辺地域との調和を図るため尽力され、防衛施設の安定的運用に大きく寄与されました。



米田三沢市副市長(中央左)、山崎三沢市政策部長(左)
東北防衛局長(中央右)、三沢防衛事務所長(右)

令和4年度東北防衛局長感謝状贈呈

令和4年11月30日、渥美巖東松島市長(宮城県)に、12月16日、竹林雅史猿ヶ森漁業協同組合長(青森県)に対し、令和4年度東北防衛局長感謝状を贈呈しました。

東北防衛局長感謝状は、当局の所掌事務の遂行について、協力及び援助しその功績が著しいと認められる方に対し贈呈しています。



渥美東松島市長(左)



竹林猿ヶ森漁業協同組合長(左)

東北防衛局調達部は、地震等による防衛施設インフラに対する緊急事態への対処に備え、1月24日、陸上自衛隊船岡駐屯地において応急危険度判定訓練を実施しました。



【写真左、下】

タブレット端末を用いて現地調査の状況をリアルタイムで調達部長に報告、指示を受けながら訓練を実施。



【訓練の想定】

- ・宮城県沖を震源とした震度6強を観測する地震が発生。
- ・陸上自衛隊船岡駐屯地にて建物の損傷と法面の崩落が発生し、同駐屯地から技術支援要請あり。
- ・施設整備調査チームとして建築課、土木課、設備課、事業監理課より職員を選定し派遣。

【応急危険度判定】

地震等により被害を受けた建築物・敷地・インフラ等について、その後の余震等による倒壊、損傷の危険性や建築物の落下、転倒、陥没、崖の崩落等の危険性を速やかに判断して、二次災害を防止することを目的としたもの。

インフォメーション

新幹部紹介令和4年(令和4年12月1日着任)

【郡山防衛事務所長】

1等陸佐 内山田 孝(うちやまだ たかし)

【前職: 第102特科直接支援隊長(東北方面後方支援隊)2等陸佐】



白石川堤一目千本桜 植樹100周年



大河原町と柴田町にかけて、白石川堤に延々8kmにわたって続く1,200本の桜並木「白石川堤一目千本桜」は、「さくらの名所100選」の地にも選ばれています。例年4月上旬～中旬の開花に合わせて、県内外から多くのお花見のお客様が訪れます。また、清流 白石川・残雪頂く蔵王連峰・一目千本桜とのコラボレーションが楽しめる「葦神堰」は最高の写真スポットです。



おおがわら桜まつり開催期間中は、夜桜ライトアップも行います。美しい桜並木が、夜の白石川に反射する幻想的な輝きは対岸からも楽しむことができます。

日中観る姿とは一味違った雰囲気を出します。



今年(2023年)は、大河原町出身の実業家 高山開治郎氏が大正12年(1923年)に植樹してから100周年を迎える貴重なメモリアルイヤーです。高山氏が、故郷に桜の名所をつくるという当時の想いは、100年経った現在も受け継がれ、満開の桜は観る人の心を魅了しています。

樹齢100年を超える一目千本桜は、ほとんどがソメイヨシノです。町では、シンボルである一目千本桜を将来に継承するため、令和4年度より、樹木医による桜樹の診断・治療、保全、桜の新品種開発等を行い、町全体で一目千本桜を大切に守っています。

先人たちによって、地元の人によって今日まで大切に愛され、守られてきた「一目千本桜の景色」。これからも、暖かくなるのを心待ちにしながら、満開の桜が咲くのを楽しみに行きます。



～この美しい景色はこれから先へ、

これからの世代へ、

繋がれていくことでしょう～

大河原町HP
QRコード



防衛関連企業シリーズ⑬: 福島産業株式会社

福島産業株式会社は、福島県本宮市において昭和35年に創業し、自衛隊の制服をはじめ広く官公庁の制服類の縫製を行っています。

今回は佐藤文紀社長、佐藤雅起課長にお話を伺いました。

Q1: 防衛省向けの製品にはどのようなものがありますか。

A1: 陸海空自衛隊の冬用の制服、レインコート、また、陸上自衛隊高等工科学校の制服は、当社でのみ縫製しています。

陸上自衛隊が平成30年から導入した制服については、打ち合わせのために陸上幕僚監部(東京都)に月の半分くらい行き、サンプルも何度も作成したので、大変思い入れがあります。

Q2: 工場内を見せていただきましたが、従業員の方の年齢層は広いようですね。

A2: 一般的には、縫製会社では、外国人の雇用や非正規社員としての雇用が行われていますが、当社は、全員日本人、全員正社員の雇用で経営しており、女性の多い職場です。縫製は、技術を必要とする場面も多く、技術を持った方には出来るだけ長く働いてもらいたいと思っており、再雇用制度も設けています。一方で、若い方の雇用も積極的に進めており、令和4年度は、10名の新卒社員が入社しました。

Q3: 縫製作業において、何か「ここは当社のこだわり」というものはありますか。

A3: 例えば、肩の内側部分の縫製です。この部分は、外地、肩パット、袖側の裏地、身頃側の裏地を縫い合わせるのですが、他社では、ミシンで縫製しているところが多いですが、当社は、手縫いで行っています。手縫いすることで、生地が一体化し、脱ぎ着のしやすさや着心地に差が出ます。

また、ボタンも手縫いで取り付けています。



佐藤社長



佐藤課長



左: 高等工科学校
制服

東北防衛局職員採用案内

東北防衛局では、2023年度国家公務員採用一般職試験の最終合格者から職員（事務官・技官）の採用を行います。職員は、様々な業務を行い、自衛隊・在日米軍・地域住民の方々との架け橋となっています。幅広い視野と積極性を持ち、粘り強く課題に取り組める人材を求めています。

業務説明会や官庁訪問を実施し、具体的な業務内容のほか、やりがいや醍醐味なども職員から直接お伝えします。興味・関心のある方は、是非ご参加ください。

事務官（行政・事務職） 【試験区分：行政、事務】

【主な業務内容】

防衛政策への理解と協力を得るための施策（広報、防衛セミナー、日米交流事業等）や防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策（民生安定施設の整備、障害防止工事、住宅防音事業等）等



技官（技術職）

【試験区分：デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、技術】

【主な業務内容】

自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設（飛行場、港湾施設、レーダー施設、体育館、隊舎など）の建築・土木・機械・電気通信設備工事の設計・監督等



採用までの流れ 2023年度国家公務員一般職試験（大卒程度試験）



東北防衛局
採用情報は
こちらから



編集後記

白石川堤一目千本桜は、白石川の兩岸8キロにわたって続く約1200本の桜並木です。

この桜は、地元高校生のせん定作業、ボランティア団体による補植、住民参加による清掃活動等、地域の方々大切に守り育てられているとのこと。最初に植樹した高山氏から続く「愛郷の精神」に思いをはせながら、花に覆われた並木道をゆっくりと散歩してみたいはいかがでしょうか。

